



献血 Q & A

Q.1 献血は足りていないのですか？

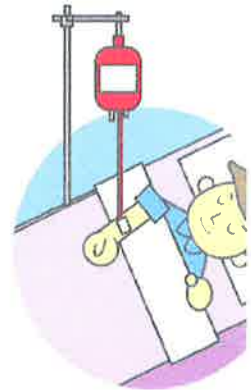
静岡県では、毎日およそ400人分の献血が必要です。

近年、静岡県内だけで必要量を確保できず近県から譲っていただくことが多くなっています。

そして血液は長い間保管が出来ず、例えば赤血球製剤は21日間しか期限がありません。

血液センターの在庫も供給量の3日分程度です。

つまり、血液が足りていて献血の必要がない、ということにはならないのです。



Q.2 時間はどのくらいかかりますか？

献血の針を刺している時間は個人差もありますが**10分前後**。献血をする前に受付・問診・検診などがあり、献血後は水分補給としばらく休憩をします。受付から献血バスを出るまでに**約30分**のお時間をいただいています。

Q.3 献血を増やすために出来ることはありますか？

ありがとうございます！

献血の経験のある人は、人口の1割程度と言われています。多くの人はきっかけがないと行きづらいと感じているようです。

まずは、普段献血してくださる皆さんから、周囲の「**献血をしたことがない人**」を誘ってください。



出入りの業者様や取引先、近隣の他社様など**外部の方にも**お声かけください。

→献血バスを配車できない事業所にお勤めの方や、外回りをしている方にも献血の機会があれば、社会全体の献血率は大きく向上します。



事前募集の際、名簿を作成して時間ごとに**希望者の割り振り**をお願いします。15分に4人程度が適正です。

→待ち時間削減、「やろうと思っていたけどなんとなく行けなかった」防止などの効果があります。



労働組合や互助会、安全委員会などで社会貢献活動の一環として希望者を募る事業所様も多くあります。

そのような**社内の組織**に協力いただけませんか？



他には、**管理職の方から**お仕事を離れる許可があったり、**事前のメール**や**前日・当日の館内放送で周知**があったりすると、効果が高いです。

献血者数は、ご担当者様のお力添えで大きく変わります。ぜひとも、ご協力をお願いいたします。